

ご近所の お医者さん

665

いと う 消 化 器
ク リ ニ ッ ク 院 長

伊藤裕之さん

—大阪市西区

在宅介護サービスの多様化

85歳のAさんは、高血圧症の治療のため毎月通院されていました。症状は安定していたのですが、ある日ご家族から「最近通販で同じものばかり注文する」と相談がありました。勘違いや一時の度忘れでもなさそうなので、近隣の物忘れ外来を紹介しました。脳M

RI(磁気共鳴画像化装置)検査、臨床心理士による問診など複数の検査の結果、精神科医師は初期のアルツハイマー型認知症と見立てました。

毎日接する家族が、月1回診察する医師より認知症を発見する糸口を持つ

共鳴画像化装置)検査、臨床心理士

施設入所を決める前に

合っておくことも必要だと思えます。200

生け花が趣味で、友達と出かけるのが好きな活動的な方でした。軽い糖尿病の治療中でしたが、遠方からご息が

来院し、老人ホームに入所するための紹介状を希望されました。理由を聞く

0年4月に始まった公的介護保険は、介護の主体が家族から社会的な仕組みになりました。今では、そのサービスもたくさん種類があります。介護支援専門員(いわゆるケアマネジャー)と一緒に、どのサービスを利用するか相談しながら選ぶことができます。一度選んでも、自分に合わなければ変更もできます。まずは地域包括支援センターや担当のケアマネジャーに相談してください。



と、遠くにいる自分はいざとなった時に介護ができないので、元気なうちに入所してもらいたいとのこと。Bさんはまだまだ自宅で生活し、趣味も楽しめるのもったいないと思いま

た。